



花を満喫！スタンプラリーに1千人楽しむ

阿蘇の花の祭典（4月～6月）イベントの一つとして、毎年商工会青年部が行っている、スポット巡りスタンプラリーに今年も約1千人が参加しました。

その参加特典であった旅行券や特産品が当たる抽選会が6月11日市長室であり、特賞（旅行券10万円分）に、熊本市の40代の女性が当選しました。

スタンプラリーは、結果を集計すると観光客の動向や好み、反応を知ることができ、青年部では毎年分析を重ね観光振興に役立てています。

世界に誇る草原の維持考える

農業者の高齢化を背景に、野焼き継続の方法など考える阿蘇の草原再生セミナー（阿蘇ホテルの会主催）が5月31日、農村環境改善センターで行われました。開催の趣旨に湯浅陸雄会長は特に山林問題を挙げ、伐採適齢期が来ている山林は伐採して草原に戻す取り組み、また保安林の制度見直しの必要性などを訴えられました。

約150人が参加したセミナーでは、阿蘇地域デザインセンターの坂元英俊氏より先日阿蘇地域で登録に向け推進協議会が立ち上がった「ジオパーク」について説明があり、その後、阿蘇グリーンストック専務理事山内康二氏、元新宮牧野組合長白石博春氏、荻の草牧野組合長丸野雄司氏、野焼きボランティア江口正義氏、阿蘇中部消防署長田口健一氏をパネリストにシンポジウムが行われました。



牛乳をたくさん飲んでください！



大阿蘇酪農業協同組合の女性部（阿部佳代子部長）は、6月1日の牛乳の日にちなみ、阿蘇市役所を訪れ、父親を代表して佐藤市長に牛乳をプレゼントしました。乳製品の消費拡大を願った「父の日に乳（ちち）を贈ろう！」という全国キャンペーンの一環で、今回は、同組合女性部が取り組んでいる「牛乳料理」の中から生キャラメルやヨーグルトも一緒にプレゼントされ、市長も大絶賛のおいしさでした。

牛乳の消費拡大にご協力をお願いします！

本格的な陶芸を地元で体験



古城小学校2年生の親子のふれあい行事が南宮原の「阿蘇スロー窯」であり、親子40人が焼き物づくりに挑戦しました。土（粘土）から器ができる楽しみ、自作の器で食する楽しみを知ろうと保護者が企画したもので、菊陽町の陶房で講師を務める東扶美さんの指導で作りました。「阿蘇スロー窯」は、陶芸が趣味という森勇三さん（内牧1区）が3年前に建設。観光客に「近くに陶芸が体験できる工房がありますか」とよく聞かれたことで、内牧温泉のスポットになればと建てられました。「陶芸」は地元の子どもたちにも人気とのことです。